

令和6年度 事業計画ならびに収支予算

1. はじめに

当振興会では皆様のご支援により、令和5年度も引き続き「公益財団法人」として、物流博物館の運営に力を注いでまいりました。

同館の運営に際しましては、新型コロナウイルス感染症等蔓延防止の観点から、常設展示の体験コーナーの利用を一部休止し、団体見学受け入れ人数の制限、イベント参加人数の制限などを通じて安全確保に留意する一方、特別展や新規の催事を積極的に開催するなど、充実した博物館活動実現のため日々努力を重ねております。

令和6年度は、感染症等に配慮しつつ、前年度と同様、特別展や催事・共催事業を積極的に開催してまいります。常設展示については、リニューアルに向けての展望を踏まえながら、単年度中に可能な範囲での展示替えや修正、機器の更新等を実施いたします。また、引き続き館内整理及び所蔵する各種資料の整理を推進します。以上を通じ、設立意義を実現する博物館の運営にさらに取り組んでまいります。

2. 令和6年度の事業計画について

A. 重点推進項目

次の各項目を重点推進項目として取り組みます。

- (1) 特別展「明治期鉄道古写真（仮題）」の開催、常設展示の改良・催事・共催事業の実施
- (2) 一般入館者および団体見学増に向けた広報活動の強化
- (3) 収蔵資料の整理・データ化の推進
- (4) 常設展示リニューアルの計画立案・実施
- (5) 運営資金の確保

B. 具体的な活動について

(1) 特別展の開催、常設展示の改良・催事の実施

令和6年度は、感染症蔓延防止に配慮しつつ、日常的な来館者の満足度を向上させることを重点課題とし、常設展示の修正に力を入れ、可能な範囲で機器類の更新を実施します。また、特別展は、「明治期鉄道古写真（仮題）」展を開催します。これらに加え、令和5年度に引き続き、前の年度に開催した特別展を流通経済大学に共催事業として巡回し、同大学との連携事業を実施します。

催事については、令和5年度と同様、夏休み行事（段ボール工作コーナーなど複数）、こども向け映画会（12月）、オンライン開催を併用した古文書講座初級編及び古文書講座中級編（いずれも1月～3月）などを実施するほか、日本通運㈱が過去に製作し、近年デジタル化を完了した映画などの上映会を引き続き毎月開催します。また、令和5年度より新たに始めた鉄道模型運転会（8月）及びJR貨物音楽部ミニコンサート（9月）も引き続き開催します。

以上の活動を通じ、広く一般に親しまれる博物館としての取り組みをさらに進め、日常的な集客を目指します。

(2) 一般入館者および団体見学増に向けた広報活動の強化

新聞、雑誌、WEBサイト、テレビ、ラジオ等で頻度高く紹介されるよう情報発信に努め、またSNSを積極的に活用して館の活動の周知を図り、さらに大学や博物館連携団体・物流業界団体・学術団体などとのタイアップにも取り組みます。

社会科見学などの多人数の小学校団体見学は、感染症等を配慮した人数制限により受入れが難しいため、比較的少人数の内定者・新人研修をはじめとした企業研修の誘致ならびに近年増加している個人来館者やリピーターの確保に注力し、積極的な周知活動に取り組みます。特別展や各種催事に際してだけでなく、日常的にSNSなどで情報発信することにより、コンスタントな来館者増を目指します。

あわせて、従来から実施しているポイントカード制度を継続し、リピーター確保の一助とします。

(3) 収蔵資料の整理・データ化の推進

収集後、未整理となっている収蔵資料について引き続き計画的に整理作業を実施します。

(4) 常設展示リニューアルの計画立案・実施

日常的な来館者の満足度を向上させることを重点課題とし、展示については常設展示の構成の変更や修正を行います。また、可能な範囲で機器類の更新を実施します。

(5) 運営資金の確保

博物館関連事業の事業収入増の実現は厳しい情勢にありますが、効率的運営の徹底による費用節約にさらに努めるとともに、より充実した事業活動を遂行できるよう運営資金の確保に努めます。

C. その他

以上の他、当財団定款に則り、必要と認める事項に随時取り組みます。

3. 令和6年度予算

A. 収入

入館者数は前年度実績により1万人を想定し、入館料収入を算出しました。収入合計は前年度予算を1,345千円上回る38,873千円で策定しました。

B. 支出

事業活動支出合計は前年度予算を1,005千円上回る37,927千円で策定しました。うち、事業支出は前年度予算を1,161千円上回る35,010千円とし、管理支出は前年度予算を156千円下回る2,917千円で策定しました。

また、投資活動支出は前年度予算を342千円上回る942千円で策定しました。

C. 収支差額

したがって令和6年度収支予算による収支差額は、4千円の黒字の見込みです。

以上